

平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: みどり自然課

担当名: 野生生物担当

内線: 3154

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B45	野生生物保護事業費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	生物多様性保全推進事業費	
事業期間	昭和38年度～	根拠法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律		戦略項目			
					分野施策	040104 生物多様性保全の推進		
1 事業概要			5 事業説明					
<p>野生生物の生息数や生息地を適正なものとするため、生息状況等を調査するとともに、鳥獣保護管理事業計画や第二種特定鳥獣管理計画に基づき、野生生物の適切な保護管理を図る。</p> <p>経費節減による減 (1)ガンカモ類の生息調査 △ 1千円 委託料の契約差金の発生等に伴う減 (2)特定鳥獣保護管理事業 △ 833千円 (3)カワウ広域保護管理事業 △1,497千円 (4)ツキノワグマ生息調査 △3,200千円 (5)カモシカ生息状況調査 △2,089千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア ガンカモ類の生息調査 生息状況調査(県内160か所) 512千円→ 511千円 イ 特定鳥獣保護管理事業 県保護管理検討委員会開催、生息状況調査、放射性物質調査 26,987千円→26,154千円 ウ カワウ広域保護管理事業 関東カワウ広域協議会参加、県協議会開催、生息状況調査 2,843千円→ 1,346千円 エ ツキノワグマ生息調査 生息状況調査 6,353千円→ 3,153千円 オ カモシカ生息調査 生息状況調査 8,888千円→ 6,799千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア ガンカモ類の生息調査 環境省の方針に基づき毎年度1回実施 イ 特定鳥獣保護管理事業 鳥獣保護管理事業計画、第二種特定鳥獣管理計画の改訂 ウ カワウ広域保護管理事業 関東カワウ広域保護管理指針に基づき、毎年度調査及び協議会を実施 エ ツキノワグマ生息調査 多発している皮剥ぎ被害等を受け、生息状況調査を実施 オ カモシカ生息調査 近年の目撃や錯誤捕獲の増加等を踏まえ、生息状況調査を実施</p> <p>(3) 事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガン・カモ・ハクチョウ類の冬季の生息状況及び渡来傾向、生息地等の基礎資料を得られる。 ・イノシシ・ニホンジカ等の個体群の安定維持、人と野生鳥獣との共生と被害防止対策の計画的な推進が図られる。 ・カワウを絶滅させることなく、被害を減少させるために、隣接都県と連携した広域的な調査や対策を実施できる。 ・ツキノワグマ・カモシカ等の生息の実態が把握することで、対策検討のための基礎資料が得られる。 <p>(4) 補正予算の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料の契約差金の発生に伴う減額 △7,016千円 ・会議開催数縮減による減額 △ 485千円 ・経費節減による減額 △ 119千円 					
2 事業主体及び負担区分 (県 10/10)								
3 地方財措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 林野行政費(細目) 鳥獣行政費 (細節) 鳥獣行政費 (積算内容) 鳥獣保護事業の実施等に関する事務								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.2人=11,400千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△7,620						△7,620	37,963
現計額	45,583						45,583	